

## 助成事業完了報告書

宛先: 日本財団  
会長 笹川 陽平 殿

事業ID: 2016352982  
事業名: 車椅子対応車(車いす4名)の整備  
団体ID: 388283  
団体名: 特定非営利活動法人 よつ葉福祉会  
代表者名 理事長 井端 智子  
TEL: 0736-22-3271  
FAX: 0736-22-3281  
住所: 〒649-7174  
和歌山県伊都郡かつらぎ町佐野677番1  
事業完了日: 2017年3月9日

事業費総額 3,067,000 円

助成金額 2,450,000 円

### 事業目標の達成状況

新しい車両が配備できたことにより、和歌山市方面等の遠隔地からでも車椅子使用の人をはじめ多くの障がいのある人たちに安心安全に通所していただくことができる。これにより、できる作業をとおして工賃を支給することができ、自立を支援し、地域福祉に貢献することができる。

事業成果物: 福祉車両

### 事業報告:

(1) 車種 日産/キャラバン 普通車 2WD/ATガソリン車いす2+8名または車いす4+5名 1台

フリガナ ワカヤマケンイトグンカツラギチョウサヤ

(2) 使用施設 住所 和歌山県伊都郡かつらぎ町佐野847-4

施設名称 てんとう虫

### 事務担当者連絡先:

オオヤテツジ

氏名: 大矢 哲司

電話: 0736-22-3271



## よつ葉福祉会からのお知らせ

### 日本財団様から日産キャラバン助成金をご採択いただきました

このたび、送迎車両としてとらう虫で使用しているトヨタハイエースの老朽化が激しいため、日本財団様に送迎車両として車椅子を4脚搭載できる日産キャラバンの助成申請を行い、245万円のご採択をいただきました。納車は本年2月から3月にかけて予定しています。

送迎はドアアツードアでさせていただいており、和歌山市方面等の遠方からも通所してもらっているため、今後も新しい車両で多くの人たちを送迎することができ、一層の安心、安全な通所と快適な空間を提供することができます。今後とも役員一同、障害のある方たちの支援にまい進して参ります。本当にありがとうございました。

(事務局長 大矢哲司)



### あけましておめでとうございます

あけましておめでとうございます。皆様方には幸多き新春を迎えられたことお慶び申し上げます。平素は当法人の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。昨年は当法人にとって二つの大きな変化がありました。一つは、五年間運営してきた高齢者デイサービス事業所あひなを閉所し、それに伴い就労継続支援A型事業所あひなにおも共に閉所となったことです。介護保険制度の改正に伴い、閉所することを決断致しましたが、様々な思いがこみ上げてきました。もう一つは、昨年9月から放課後等デイサービス事業所ソプラスリーパーが開所したことです。ここでは主に知的障害または発達障害のある中高生の支援にあたっています。まだまだ利用される方も少なく、事業所運営は踏ん張りどころですが、私たちの目的や目標、方向性を見失わないよう、支援の幅を広げていきたいと考えています。

また、今年度は職員の職場定着、運営の安定などを考える中で、働きやすい職場環境の改善に取り組んでいきたいと考えています。職員が身体的にも精神的にも安定して仕事ができることが、利用者支援の向上につながり、良い支援を行うことが利用者の笑顔につながり、利用者の笑顔が私たち職員のものになることを目指しています。職員一同、目標に向かって前向きに努力していきたいと思っています。本年も皆様方にはより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当法人では、平成21年より本誌1月号をもって、新年のご挨拶とさせていただきます。

理事長 井端智子

ソプラス (電話: 0736-26-7281 / FAX: 0736-26-7291)

私たちの目指すべきところ

去る1月13日、第10回よつ葉祭りを開催しました。これは法人創立1年目から続けてきている行事です。おおよそ1年前、私たちは社会福祉事業を行うべく法人を創設しました。社会福祉事業経営というものは特に、単に障害者や高齢者あるいは児童にサービスを提供し、報酬を得るという単純なものでは成り立ちません。まずは、法人組織は社会の公器という認識を持ち、利益は目的ではなく、事業継続の条件であると捉える必要があります。私なら社会福祉事業を行う非常利組織としての目的は、利用者の

ソプラス 統括所長 井端智子

潜在的ニーズを察見し、ニーズの変化を知り、新しいニーズに対応していくことです。私たちに、未来を築かれている公器としての使命を果たすこと、すなわち私たちの組織の外にある利用者のニーズと向き合い、必要とされる新たなサービスの創造に積極的に取り組むことが必要とされます。「人々へ社会の豊かさを伝達し続けること、私たちの日々の真摯な実践の積み上げにあるのではないかと感じます。

当法人も昨年の創立10年を機に、経営理念を一新し、高い倫理観に基づき経営理念、法人全体が一



改め書きを機会になりました。

体となった運営を福祉サービスの真髄とし、社会から期待される役割として活動のリスタートをいたしました。一つの区切りである10年目のよつ葉祭りを通して、人々へ社会の豊かさを伝えること、私たちに課せられた使命を今一度捉えかえし、私たちが自身を今一度捉えかえし、私たちが自身の豊かさを通して、社会の問題に貢献していかなければならないことを改めて書きを機会になりました。

